

信州大学医学部附属病院 婦人科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2022年1月24日

「婦人科悪性腫瘍腹部手術後に使用する大建中湯およびエノキサパリンが肝機能に与える影響」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5414
研究課題名	婦人科悪性腫瘍腹部手術後に使用する大建中湯およびエノキサパリンが肝機能に与える影響
所属(診療科等)	薬剤部
研究責任者(職名)	内藤 隆文(教授・薬剤部長)
研究実施期間	2022年1月24日～2022年12月31日
研究の意義、目的	大建中湯およびクレキサンを併用することが肝機能障害を惹起するかを明らかにすることを目的とした研究で、婦人科悪性腫瘍腹部術後に使用する薬剤の安全な投与に貢献できると考えられます。
対象となる方	2019年1月1日から2021年12月31日の期間に当院で卵巣がん、子宮体がん、子宮頸がんについて腹部手術を受けられた方
利用する診療記録	被験者背景、年齢、身長、体重、BMI、現病歴、使用薬剤、大建中湯および／またはエノキサパリン導入日、血液生化学検査値、肝障害発現日、手術日
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、肝機能障害の発現と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 渡辺 宏晃(薬剤部) 電話: 0263-37-3013

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。